

2月定例市議会
はじまる

暮らし・地域経済応援の28年度予算を求める

日本共産党
静岡市議会議員団

ニュース

2016 - No.1

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcps.jp/
メール yksf5@jcps.jp

2月定例市議会が2月10日
はじまり、27年度補正予算案や28年度当初予算案等が審議されます。会期は3月18日まで。

◇◆◆◆◇
27年度補正予算案は、約38億円の増額のうち24億円は低所得高齢者約7万人への臨時福祉給付金です(28年度6月ころへ繰り越し予定)。他は基金への積み立てなど。

28年度当初予算案は、一般会計は約2820億円とほぼ前年度並みの規模です。増加の主なものは4月からの消防広域化(3市2町)による人件費増が16億円、歳入では個人市民税14億円増(所得や株配当の増による)です。

国保会計は保険料引き下げで約9億円減少するものの、県内市町間で医療給付費負担の調整で歳入増加によって差し引き前年比7億円増加しています。病院会計は4月から静岡市立病院が独法化することで清水病院のみとなります。

全会計の合計は約6000億円となり、党市議団は市民の暮らし福祉・地域経済応援の予算をもとめて論戦する予定です。また市長の施政方針や市政課題にたいして、代表質問・総括質問を全議員が行い、意見書案を提出する予定です(下記参照)。

2月定例会会議日程

会期 2/10～3/18 (38日間)
会場 静岡庁舎本館

- 本会議 午前10時より
2/10(水) 15(月) 22(月)のみ13時より
- 代表質問 3/2(水) 3/3(木)
- 総括質問 3/4(金) 3/7(月)
- 本会議(最終) 午後1時30分より 3/18(金)

- 委員会 3/11(金) 14(月) 午前10時より
＜厚生委員会＞
＜観光文化経済委員会＞
＜都市建設委員会＞
3/9(水) 3/10(木) 午前10時より
＜総務委員会＞
＜市民環境教育委員会＞
＜企業消防委員会＞

2月議会での質問

(3月2日・3日・4日・7日)

〈代表質問〉

鈴木せつ子議員 3月3日



- ・市長の政治姿勢について
- ・地方政治を発展させる行財政運営
- ・市民の暮らし、いのちと健康を守り、福祉最優先に
- ・地域経済を振興の中心に
- ・自然環境・文化を守り、人にやさしい安心のまちづくり
- ・教育条件の整備について
- ・平和行政について

〈総括質問〉

西谷博子議員



- ・介護保険について
- ・清水LNG火力発電所について

山本明久議員



- ・中小小規模事業者を応援して地域経済の内発的発展を

内田隆典議員



- ・防災対策について
- ・学校給食について

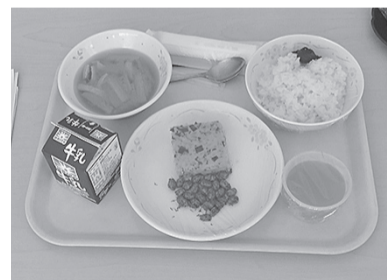
寺尾昭議員



- ・スポーツ・プレジャー行政について
- ・18才選挙権について
- ・大谷・小鹿まちづくりについて

船橋市の完全自校方式による学校給食 視察

船橋市の学校給食は、小中学校82校すべて完全自校方式です。中学校は、H4年から計画的に給食室とランチルーム建設を開始。基本理念は、児童・生徒の立場に立って愛情を込めた料理づくり、調理はすべて手作りを基本、安全な食品使用、地産地消の推進など。献立には、「地産食材を食べて知る日」など、創意工夫が随所にちりばめられています。全校に栄養教諭又は、栄養職員を配置し、食育教育が行き届き、静岡市との違いを痛感しました。



LNG火発で経済波及効果はあるのか

2月10日、土居英二先生(静大特任教授)を招き、東燃LNG火発建設計画による「経済波及効果」について学習会を開きました。静岡市は、680万円の予算で事業者に「経済波及効果」の調査依頼をし、中間報告を示しましたが、数値は一切記載されていない中でも、LNG火発効果を過大に見込んでいる傾向があることが明らかになりました。「経済波及効果」は、住民の安心・安全を踏まえたものであるべきという点も、学ばされました。



※詳しい日時は、党議員団事務局までお問い合わせ下さい。